

石川の土地改良

第649号 2022年2号

石川県土地改良事業団体連合会



金沢城公園（金沢市）

©石川県観光連盟

CONTENTS

- 第64回 通常総会 1
- 会長の職務代理者について 2
- 土地改良事業功労者表彰 2
- 第3回理事会・監事会 3
- 全国水土里ネット第64回通常総会 3
- 全国水土里ネット表彰 3
- 令和3年度北陸農政局多面的機能発揮促進事業
優良活動表彰 4
- 換地計画実務研修 4
- 事務局機構図 5
- 本会採用職員の紹介 6
- 連合会日誌（1月～3月行事） 7
- 土地改良事業の相談は 水土里ネット いしかわへ 7
- ふるさとの水土里子ども絵画展募集のお知らせ 7

水土を守り農村空間を創造する



水と緑のパートナー

みどり

水土里ネットいしかわ

第64回 通常総会

本会は、3月23日、第64回通常総会を石川県土地改良会館で開催した。新型コロナウイルスの影響による規模縮小のため、昨年同様、代表者のみの出席となった。

西村会長は、開会挨拶で「農業農村整備事業関係予算について、昨年度の補正と今年度の当初予算を合わせた実質的な令和4年度の予算額として、昨年度と同額の6,300億円を確保できた。これもひとえに、会員並びに土地改良関係者の皆様の力強い要請と熱意の賜と感謝申し上げます。本会は、引き続き、県内農業の成長産業化に向け、農地の集約化と水田農業の高収益化を推し進めるための基盤整備や農業用ため池の整備、基幹水利施設の計画的な更新整備を推進する業務を着実に



開会挨拶する西村会長

に行うとともに、予算確保や制度の拡充など、会員の皆様の期待に応えるべく、役職員一丸となって、努力して参る所存である」と表明した。続けて、「私事ではありますが、今年度をもって退任することといたしました。永きにわたり、皆様のご協力のもと、土地改良事業を円滑に進めてまいることができました。改めまして、厚くお礼を申し上げます。ありがとうございます」と、自身の退任の報告と感謝の意を述べた。

議事では、議長に吉原土地改良区の北村理事長が選出され、令和2年度決算、令和3年度補正予算、令和4年度当初予算など全8議案が上程され、可決・承認された。

なお、役員の新補欠選任として、新理事に宮下 為幸氏（中能登町長）が選ばれた。総会終了後、第4回理事会を開催し、会長職務代理者に副会長の梶 文秋氏（輪島市土地改良区理事長）が選任された。

決議

農業・農村は、国の大本であり、安全・安心な食料の安定供給はもちろん、豊かな国土や自然環境なども、農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。しかしながら、農村においては、都市部に先駆け高齢化や人口減少が進んでおり、農業従事者の高齢化、担い手不足に加え、農家の減少により農地・農業水利施設等の維持管理に支障が生じるなど課題が山積し、地域活力の低下も懸念されている。加えて、未だ収束を見ない新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、農業・農村だけでなく社会にも多大な影響が生じている。

農業・農村を魅力ある産業として、次世代に引き継いでいくためには、担い手の育成や効率的な生産に必要な農地の大区画化及び汎用化を積極的に進めるとともに、農業用水の安定供給に必要な農業水利施設の長寿命化対策、ため池等の耐震化や洪水被害防止など、農村地域の国土強靱化を図る防災減災対策の推進が喫緊の課題である。

我々土地改良関係者は、農村地域の持つ魅力や多面的機能の発揮を通じて、農村地域の活性化を図り「水」「土」そして「里」を守り、国民共有の貴重な財産として次世代に引き継いで行く重要な責務を担う者として、これまで培ってきた技術や経験を活かし、今後とも、農業政策の推進に積極的に貢献していく覚悟であり、農業の競争力強化と農業・農村の持続的な発展を確固たるものにするため、「闘う土地改良」の旗印の下に一致団結して、次の事項の実現を図り、農業農村整備事業を推進していくことを総会の名において決議する。

記

- 一 農業の生産効率を高め、競争力強化を図る上で不可欠な、ほ場の大区画化や汎用化、水管理の省力化など、地域特性を踏まえた基盤整備の実施で、農地中間管理機構とも連携した担い手への農地集積・集約化を推進すること。
- 一 頻発する地震・集中豪雨等の自然災害を未然に防ぐため、農業用ため池・農業水利施設等の耐震対策、洪水被害防止対策等の防災・減災対策を推進すること。また、施設の計画的な整備補修による効率的な機能保持と、長寿命化対策を推進すること。
- 一 改正土地改良法の適正な運用を図るため、その普及啓発に努めるとともに、複式簿記の導入など土地改良区の運営基盤の強化に対する支援を推進すること。
- 一 農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮と地域の農村協働力を活かした地域ぐるみの活動を適切に支援し、農業の生産活動の継続と地域資源の保全・活用に重要な役割を果たす多面的機能支払制度を推進すること。

令和四年三月二十三日

石川県土地改良事業団体連合会
第六十四回通常総会

会長の職務代理者について

本会会長西村徹の退任に伴い、令和4年4月1日から当分の間、副会長梶文秋が会長の職務を代理しておりますのでお知らせいたします。表示の形式は以下の通りです。

石川県土地改良事業団体連合会
会長職務代理者 副会長 梶 文秋

土地改良事業功労者表彰

土地改良事業に関して功績顕著で他の模範となる3団体並びに永年土地改良事業に貢献のあった11個人に対し、西村会長から表彰状と記念品が贈られその功績を称えた。

土地改良事業功労者表彰（順不同・敬称略）

【団体の部】 （3団体）

- 町屋鳥越ほ場整備事業組合（理事長 山崎 力）
- 高階第2地区ほ場整備組合（組合長 山下眞一郎）
- 能登島向田地区圃場整備推進組合（組合長 高橋 正俊）

【個人表彰】

○ 役員表彰 （9名）

佐々木賢一	能美市土地改良区 副理事長
藤田 一彦	河野土地改良区 理事
酒井 勲	河野土地改良区 理事
瀧下 宗正	河野土地改良区 監事
吉田 利英	辰巳用水土地改良区 理事長 金沢市用水連合会 理事
夷藤 芳夫	内灘町土地改良区 会計担当理事
津田 久雄	川尻用水土地改良区 理事
村 俊雄	邑知渦土地改良区千路管理区（前）委員長 越路野第1排水機場 管理人
村上 太一	甲土地改良区（前）会計理事

○ 職員表彰 （2名）

北川 峰章	かほく市産業建設部産業振興課 課長
大井 茂	能登町農林水産課 ほ場整備相談員



受賞者の皆さん

第3回理事会・監事会

2月15日に令和3年度第3回理事会が農林会館において開催され、令和3年度事業中間報告、第64回通常総会提出議案等について審議が行われ、いずれも原案どおり可決・承認された。なお、理事会の席上で、永年25年勤続表彰が行われ、事業部測量設計課から桑 弘人課長補佐並びに田中 伸昌主幹、総務部総務課から横川 美陽課長補佐の3名が西村会長から表彰状並びに記念品を授与された。

また、理事会に先立って2月9日には、第3回監事会が土地改良会館で開催され、令和3年度業務等についての中間監査が行われた。



全国水土里ネット第64回通常総会

3月24日、全国水土里ネットの第64回通常総会が、全国都市会館（東京都）において開催された。昨年同様、新型コロナウイルスの影響により規模縮小での開催となった。

議事では、令和2年度決算、令和3年度中間報告及び補正予算、令和4年度事業計画及び当初予算など全14議案が上程され、いずれも全会一致で可決・承認された。

また、第14号議案として、第64回通常総会決議案が朗読され、「闘う土地改良」の旗印の下に、一致団結して農業農村整備を推進していくことを全会一致により承認し閉会した。

併せて開催される予定だった土地改良功労者表彰は中止となったため、本会総会にて県内受賞者への表彰伝達式を行った。

全国水土里ネット表彰伝達式

全国水土里ネット表彰式並びに農業農村整備優良地区コンクール表彰式は、昨年同様コロナ禍により中止となったため、本会において表彰伝達式を行った。受賞された方々へは本会会長より表彰状と記念品が贈られ、表彰の栄に浴された。

○ 第63回全国土地改良功労者表彰

【個人】

北村 登	吉原土地改良区 理事長	村 和美	邑知潟土地改良区 会計主任
中森真紀子	珠洲市土地改良区 事務局次長	谷田 憲彦	石川県土地改良事業団体連合会技術指導監

○ 農業農村整備優良地区コンクール （農業振興部門）

【農村復興局長賞】

県営ほ場整備事業（面的集積型）
東馬場地区
（農事組合法人 あぐりばんば）



令和3年度北陸農政局 多面的機能発揮促進事業優良活動表彰 ～ 県内から2団体が受賞 ～

「北陸農政局多面的機能発揮促進事業優良活動表彰」で、県内の2団体の受賞が決定した。これは、多面的機能支払及び中山間地域等直接支払で、他の模範となる活動や取組みを北陸農政局が表彰するもの。

なお、表彰式は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、取り止めとされた。

【県内の受賞団体】

＜多面的機能支払部門＞

津波倉町環境保全会 (小松市)

○ 津波倉町環境保全会

国道8号線粟津IC付近の緑豊かな本地区では、長年課題であった耕作放棄地の解消と景観向上のため、地域住民と一体となって保全活動に取り組んでいる。

代表的な取り組みとして、粟津温泉へ向かう玄関口としての景観向上を目的として、町内会や婦人会など地域住民と連携し、5カ年計画でコスモス畑をつくることにより、耕作放棄地の解消及び有効活用を図っている。

さらに、県内最大級のコスモス畑を目指し、多数の新聞掲載やテレビ放映など、メディアを通じた広報活動にも力を入れている。

＜中山間地域等直接支払部門＞

大泊町中山間事業組合 (七尾市)

○ 大泊町中山間事業組合

海沿いにある本地区では、農村ボランティアや青年漁師等による除草作業等の耕作放棄地発生防止や、集落ぐるみで水路の泥上げなどの共同作業を実施し、農業生産活動を維持する体制を構築している。

また、協定農用地で生産した米を「大泊なずみ米」としてブランド化し、「能越自動車道」のパーキングエリア内の直売所で販売し、地域の所得向上に取り組んでいる。

さらに、空き家を活用した移住・定住の促進や、棚田で作ったもち米の加工品を開発し、集落内で毎月開催する朝市で販売している。

換地計画実務研修を開催

石川県換地センターは、1月28日、土地改良会館において令和3年度換地計画実務研修を開催した。この研修は、土地改良区体制強化事業の実施要綱、同要領により換地等技術向上に資することを目的として、換地事務に従事している換地技術者等を対象としている。

本年度は県、市町、土地改良区、県土連の職員合わせて24名が参加し、代位登記の実務、換地計画書作成実務に加え、金沢地方法務局と県農業会議より講師を招き民事基本法制見直しのポイントと、農地制度をめぐる情勢について講義が行われ、参加者は熱心に受講し、換地業務への理解を深めた。

研修カリキュラムは右のとおり。



研修内容	講師
所有者不明土地の解消に向けた民事基本法制の見直しについて	金沢地方法務局不動産登記部門 統括登記官 水野 善昭
農地制度をめぐる情勢	石川県農業会議 参事 得田 信一
土地改良事業による代位登記	石川県土地改良事業団体連合会 課長 菱村 忠
換地計画書作成実務	石川県土地改良事業団体連合会 担当課長 倉田 景一
質疑応答	石川県換地センター

令和4年度石川県土地改良事業団体連合会 事務局機構図

令和4年4月1日現在
職員数 44名



いしかわ多面的機能発揮推進協議会事務局
 石川県農業農村整備事業推進協議会事務局
 水土里情報センター
 木下(兼)・館(兼)・二村(兼)
 今井(兼)・馬場(兼)・小松(兼)
 松本(兼)・大場(兼)・野崎(兼)・木下(兼)・吉田(兼)・桑(兼)

委員会
 換地業務審査委員会 古西・山牧・中井・木下
 設計業務技術審査委員会 古西・山牧・中井・中田・谷田

本会採用職員を紹介



氏名
古西 広
所属
参事 兼 企画調整監

◆抱負及び自己紹介

農業及び農村集落の現状は、担い手の減少、高齢化、さらには米価の下落等で大変厳しい状況です。農業土木技術により生産基盤整備を行い、農業の下支えにしっかり取り組み、農業を足腰の強い産業とし、核土地改良区が健全な組織として発展できるように微力ながら頑張ります。

◆趣味・特技等

コロナ禍で何を行うにも難しい状況ですが、休みの日は子供たちのサッカーの運営に携わっています。今年は全ての大会が予定通り開催できる状況になるよう期待しています。

- ※石川県少年サッカー連盟 理事長
- ※石川県サッカー協会 理事（4種委員長）



氏名
小松 知里
所属
総務部 企画管理課 主事

◆抱負及び自己紹介

この4月からお世話になります遠藤と申します。金沢市内に引越して来たばかりで、分からないことも多いですが、新生活に早く慣れていきたいと思えます。業務においては、毎日少しでも出来ることが増えていくよう精進してまいります。ご指導をよろしくお願いたします。

◆趣味・特技等

趣味は写真撮影です。休日は登山をして景色を撮影したり、育てている観葉植物や庭に咲く花を撮影して楽しんでいます。最近では猫や鳥など、身近な動物を撮影することもあります。



氏名
池高 誠哉
所属
事業部 測量設計課 技師

◆抱負及び自己紹介

今年度から本会に勤務することになりました池高です。まだ分からないことばかりですが、先輩方に様々なことを教えて頂き、吸収し、業務に取り組んでいきます。

大学生活は富山県で過ごしましたが、地元の石川県で働き、貢献できることを幸せに思っています。これからどうぞよろしくお願致します。

◆趣味・特技等

趣味は、たくさんありますが一つは旅行です。最近では国内ばかりですが、今後は海外にも行きたいです。特技は、カポエイラで、小学三年生の頃に始めました。



氏名
木戸口 享平
所属
事業部 測量設計課 技師

◆抱負及び自己紹介

働くということについて右も左も上も下もわからない状態ですが、やれるだけのことを頑張っていきます。

生まれてから周りが山の鳥越に住んでいるので、昔から地域のために何かしたいという気持ちがありました。これから多くの経験を積んで地域へ貢献できるようになりたいと思えます。

◆趣味・特技等

パソコンを操作するのはある程度得意だと思っています。しかし、まだハード面もソフト面もほどほどといった感じなので深化させていきたいです。



氏名
二村 純平
所属
事業部 調査管理課 技師

◆抱負及び自己紹介

大学入学を機に石川県に引越して来ました。大学在学中に石川県の豊かな自然に魅了されて、石川県での就職を決めました。社会人として一人前になると同時に石川県の更なる発展のために土地改良事業に尽力したいです。

◆趣味・特技等

趣味は釣りや筋トレです。生き物を捕まえたりするのが大好きで在学中もよく川や海に遊びに行きました。社会人になっても衰えないように筋トレも頑張っていきたいです。大学に入学してから麻雀を教えてもらい、麻雀を打つのも好きです。



氏名
林 昂亮
所属
事業部 換地課 技師

◆抱負及び自己紹介

京都で4年間の大学生活を送り、地元へ貢献したいという思いで石川県に戻ってきました。これから、様々な経験を積み、地域に貢献できるよう成長していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

◆趣味・特技等

趣味は野球観戦です。特にプロ野球・高校野球が好きです。休日には、野球を観戦しに球場に足を運んでいます。

連合会日誌

1月

- 13日 都道府県水土里ネット事務責任者会議(東京都)
- 14日 農業会議第70回常設審議委員会 (金沢市)
- 28日 令和3年度換地計画実務研修 (土地改良会館)

2月

- 9日 第3回監事会 (石川農林会館)
- 14日 農業会議第71回常設審議委員会 (金沢市)
- 同日 農業会議第4回理事会 (同上)
- 15日 第3回理事会 (石川農林会館)
- 22日 令和3年度担い手育成・農地集積推進会議 (金沢市)

3月

- 7日 地域環境資源センター第3回理事会(Web開催)
- 9日 いしかわ就職フェア (金沢市)
- 11日 農業会議臨時総会 (金沢市)
- 同日 農業会議第72回常設審議委員会 (同上)
- 23日 第64回通常総会 (土地改良会館)
- 同日 第4回理事会 (石川農林会館)
- 24日 石川県農業活性化協議会第3回通常総会(金沢市)
- 同日 第64回全国水土里ネット通常総会 (東京都)
- 25日 令和3年度七ヶ用水土地改良区通常総会(白山市)
- 28日 北陸四県土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議 (福井県)

土地改良事業の相談は 水土里ネット いしかわへ

石川県土地改良事業団体連合会では、土地改良事業に関する相談及び助言・指導を毎月1日に行っています。窓口は右記のとおりとなりますので、お気軽にご相談下さい。

- 連絡先** 石川県土地改良事業団体連合会
換地センター 及び
土地改良管理指導センター
(TEL 076-249-7181)
- 相談日** 毎月1日

未来へつなごう! ふるさとの水土里子ども絵画展募集のお知らせ

全国水土里ネット及び都道府県水土里ネット主催による「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展は、名称新たに「未来へつなごう! ふるさとの水土里子ども絵画展」として開催されます。詳細につきましては、下記をご覧ください。たくさんの方のご応募をお待ちしております!

- 応募資格** 小学生以下
- 応募期間** 令和4年8月1日(月)～9月8日(木)必着

応募方法

1. 用紙は四つ切り画用紙サイズ(38cm×54cm)とします。**※このサイズ以外の作品は審査の対象外となりますので、ご注意ください。**
2. 絵の対象は「田んぼや畑」「農業用水路」「農業用ため池」などの風景や、大切な水路を守っている人たち、農業に関する古くから伝わる祭りや風習、郷土料理、農作業風景など農業や農村に関連するものとします。
3. 応募作品は未発表のものとし、過去の絵画展(他の絵画展も含む)で入賞した作品及び他の作品などを模写したものは応募できません。審査後にこの項目に該当すると判断された場合は、受賞が取り消される場合があります。
4. **応募作品裏面右下スミに応募用紙をしっかりと貼り付け、さらに、画用紙に直接氏名を記入して下さい。作品の提出、送付にあたっては、折れたり汚れたりしないよう包装に十分気をつけて下さい。なお、応募時における紛失・損失については責任を負いかねます。**
5. 応募作品の返却は行いませんので、ご了承のうえ応募して下さい。
6. 本コンテストの選考結果にかかわらず、作品を送付した時点から応募作品の使用権は主催者に帰属するものとします。
7. 応募用紙に記入いただいた個人情報は、当会の個人情報保護方針に基づき厳重に管理いたします。詳細につきましては、当会HPに記載しております。
8. 本展の事業実施・運営に関する業務の一部を委託する場合、当会が適切な監督を行う業務委託先に個人情報の預託を行います。

応募先・問い合わせ先

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館4階

全国水土里ネット内 未来へつなごう! ふるさとの水土里子ども絵画展事務局
TEL: 03-3234-5480 FAX: 03-3234-5670
E-mail: midorinet@inakajin.or.jp

絵画裏面イメージ

- 直接お名前を記入して下さい。▶ **農村 水土里**
- 応募用紙をのりなどですっかり貼って下さい。▶ **応募用紙**

編集兼発行: 金沢市古府1丁目197番地
石川県土地改良事業団体連合会
電話 076-249-7181
印刷所: (株)谷印刷